

○ 優良協働事例の紹介（平成 25 年度）

「佐久サムライ第3話 いじめを斬る！制作」

平成 25 年度信州協働大賞【優秀賞】

1 主な協働の主体

主団体：佐久サムライ実行委員会（佐久市）

佐久ケーブルテレビ株式会社

信州プロレス（グレート☆無茶）

FM佐久平

軽井沢学園（児童養護施設）

佐久防犯協会連合会

小諸防犯協会連合会

佐久市・佐久市教育委員会

佐久市立高瀬小学校

小諸市・小諸市教育委員会

小諸フィルムコミッション

長野県警察本部（佐久警察署、小諸警察署）

長野県（佐久地方事務所地域政策課）

2 事業に至った経過

平成 22 年、警察から市町村、防犯ボランティア、ケーブルテレビ等関係機関へ働き掛け、佐久ケーブルテレビ㈱の協力を得て実行委員会を立ち上げ、振り込め詐欺、万引きなどの防止を目的とした視覚に訴える映画（DVD）制作への取り組みを開始しました。

今回（3 作目）は、ものづくりを通じて、防犯意識と規範意識の高揚、少年非行やいじめの防止を図るため、DVD「いじめを斬る！」制作に至ったものです。

3 事業内容

防犯啓発映画「佐久サムライ第3話 “いじめを斬る！”」の制作

制作にあたり、より多くの年代の地域住民等の興味を引き、より多くの参加を募って制作するため、県の「地域発元気づくり支援金」を活用しました。

(1) 制作目的

1. 現在大きな社会問題となっている「いじめ」を取り上げ、地元小・中・高校の児童生徒の参加を募り、ワークショップを行い、プロとともに映画を作る。
2. DVDを学校等に配布して、「いじめのない社会」に向けて取り組むきっかけとする。

○ ふだん見ることのない映画作りを見聞・体験することで、ものづくりのおもしろさ・

苦勞・感動を経験させる

- 参加児童・生徒と台本を作るにあたり、「いじめ」に関心を持たせ、その非人間性・悪性について認識させるとともに、「いじめ」に対する解決法を参加者全員で考える
- 世代の違う集団の中で、参加者が協調性、積極性、自主性を学ぶ
- 撮影ロケ地を探すことで、地元に住らす人が佐久の魅力を見出す
- 完成したDVDを学校等で上映する際に、映像化されたことでいじめ問題を直接、具体的に訴えることができ、話し合いが活発に進められる
- 警察署、ケーブルテレビ等で機会あるごとに放映することで、防犯意識を育て、非行防止等の意識の高揚を図る。

(2) 制作過程

- 平成 25 年 5 月
実行委員会関係者に対する企画説明
映画制作参加児童・生徒の募集、選考
- 6～7 月
参加児童、生徒の顔合わせ
ワークショップの実施 4 回
 - ・ 俳優、カメラマン、音楽家など各分野のプロを講師とした講習
 - ・ 台本の作成、役割分担、撮影準備



- 7～8 月 8 日間
台本に基づく撮影の実施
ロケ地 (佐久市・小諸市)
- 9～10 月
撮影映像の編集体験・ワークショップ
テーマ曲合唱の録音

- 映画完成試写会 11 月 23 日 佐久市交流文化館浅科・穂の香ホール
参加児童・生徒の体験・感想発表
映画上映・意見交換



- 平成 26 年 1 月～

完成したDVDを東信地区の教育委員会、小・中・高校等へ無償配布

【あらすじ】

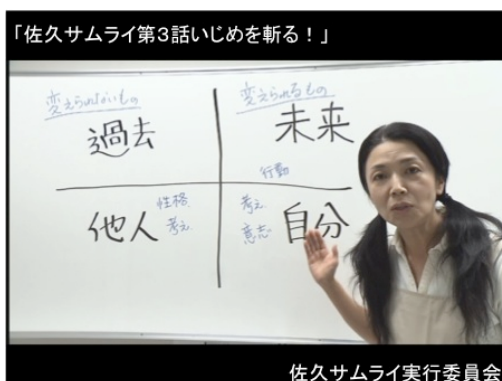
県内のある小学校では、全員で一人をいじめるゲームが流行っている。いじめっ子の修は次のターゲットにテルミを選ぶが、知哉はそれに従わずに、修にいじめのターゲットにされてしまう。いわれの無いいじめを受けて傷つく知哉。そんな時、彼の心の叫びに応えて、佐久サムライが現れ、自信を持つように諭す。

一方で、忙しい母親に話を聞いてもらえない修は寂しさを募らせ、はけ口がクラスメイトへのいじめとなる。

下校途中、知哉は近所の高齢者集会所で、そこに集う人達と「いじめに立ち向かう」作戦を練る。翌日知哉をはじめクラスの仲間が「もういじめはしない」と宣言。修は教室から飛び出す。探しに来た母と胸の内を話し、和解する。

改心した修から「黒い影」が逃げ出し、佐久サムライと白いマスクの使者が黒い影と戦う。倒せなかったものの、闇が現れたら光を当て続けることを誓う。

その後、修と知哉たちのクラスではいじめがなくなる。(つづく)





4 各主体の役割分担

- 佐久サムライ実行委員会・・・事業の運営全般
- 佐久ケーブルテレビ・・・・映像撮影、編集、関係報道機関等に対する広報、DVDの放映
- 信州プロレス(グレート☆無茶)・撮影協力・イベントでのDVDの活用
- FM佐久平・・・・・・参加児童・生徒の募集、広報
- 軽井沢学園(児童養護施設)・・・学園の児童・生徒・職員の参加、撮影協力
- 市町村及び教育委員会・・・・参加児童・生徒の募集、ワークショップ等場所提供、撮影協力
DVDの配布、各学校での活用
- 佐久地方事務所・・・・・・事業補助金(元気づくり支援金)の交付申請等及び撮影協力
- 佐久警察署・小諸警察署・・・警察犯罪実態や犯行手口、防犯に資する情報等の提供
警察官の配役などの撮影協力
警察が行う防犯イベント、防犯教室等でのDVD映像の活用
- ボランティア・・・・・・撮影協力、子供達の見守り、資金援助、昼食の差し入れ

5 事業の成果

- プロの講師(俳優・映像・音響等)の講習を受け、話を聞き、共に映画作りを経験するなかで、ものづくりの喜び、やり遂げる喜びを味わうことで、参加者の自信となりました。また世代の違う集団の中で参加者に協調性・積極性・自主性が育ってきました。
- 台本作りの過程で「いじめ体験」を話し合い、その解決法を世代を超えて話し合いました。参加者の意見、アイデアを取り入れ「みんなで作った映画」となりました。
- 映画上映会実施により、企画参加者以外の地域住民の関心を高め、観覧者に対して「いじめは子供たちだけの話ではない、みんなに関わることである」と考えてもらう機会になりました。
- DVDを配布した小学校等で「いじめについて考える集会」を開き、映像を視聴してもらうことにより具体的に「いじめ問題」について考え、「いじめはしない」「いじめをなくそう」と児童の意識を高めることができました。これからさらに活用を働きかけていきます。
- 佐久ケーブルテレビで放映することにより、視聴者に「いじめ」をはじめとした問題についての関心を高めました。
- 佐久警察署・小諸警察署等の防犯イベント、講習会での活用等により、住民の防犯意識及び規範意識の高揚が期待できます。

6 今後の予定

- 東信地域の小・中・高校等に対して制作したDVDの無償配布を行いました。
学校で教材として授業や集会で上映して、「いじめのない社会」に前向きに取り組んでもらえる様働きかけます。

区 分	教育委員会	小学校	中学校	高 校	養護学校	計
配付数	17	73	33	18	2	143

- 佐久ケーブルテレビでの放映、DVDの貸し出しを行います。
- 学校以外でもフリースクール・老人施設・保育園・公民館等にDVDを配布して、積極的に上映会を企画して多くの人に映画を見てもらい、「いじめ問題」を考えてもらう機会を増やします。
- 信州プロレスが行うイベント等での活用を図ります。
- 警察が行う防犯イベント、防犯教室等でのDVD映像の活用を図ります。
- 東信地区以外でもDVDの配布、上映会の開催を働きかけて一人でも多くの人に見てもらおうように努めます。